

各 位

株式会社大和証券グループ本社

アフィン・インベストメントバンクとの業務提携契約締結に関するお知らせ

株式会社大和証券グループ本社（以下「大和証券グループ」）は、平成 25 年 12 月 13 日にマレーシアの金融グループ、Affin Holdings Berhad 傘下の投資銀行である Affin Investment Bank Berhad（以下「アフィン」）との間で、エクイティブローカレッジ業務において業務提携契約の調印をいたしました。

本日開催された日本マレーシア経済協議会 第 32 回合同会議において、マレーシアのナジブ・ラザク首相、ムスタバ・モハメド国際通商大臣の立会いの下、大和証券グループ社長 日比野隆司、副社長 岩本信之、アフィン会長 タン・スリ・ヤコブ、社長 マイムーナ・フサインの 4 名により署名されました。

当該業務提携において、大和証券グループは、アフィンのマレーシア株リサーチサービスをマレーシア国外の機関投資家に提供し、アフィンは、大和証券グループのアジア株（日本株を含む）のリサーチサービスをマレーシア国内の機関投資家に提供いたします。また、アフィンは、大和証券グループからのマレーシア株の注文を執行し、大和証券グループは、アフィンからのアジア株（日本株を含む）の注文を執行します。

アフィンは、マレーシア株式の広範なリサーチカバレッジ及びマレーシア企業とマレーシア国内投資家に対する強力なネットワークを有しており、本業務提携契約により、大和証券グループは、高い経済成長が見込まれるマレーシア関連エクイティビジネスを大幅に強化することが可能となります。

大和証券グループとアフィンは、強固なビジネス関係を築き、お互いの幅広いネットワークを活用し、お客様へよりよいサービスを提供してまいります。

業務提携契約の概要

- 1 . 大和証券グループとアフィンは、マレーシア国外機関投資家へのマレーシア株のリサーチレポートの提供及びアナリストの情報提供並びにマレーシア企業とのミーティングアレンジに関し協力する。
- 2 . 大和証券グループとアフィンは、マレーシア国内機関投資家への日本を含むアジア株のリサーチレポートの提供及びアナリストの情報提供並びに日本を含むアジア企業とのミーティングアレンジに関し協力する。（契約締結日から 9 ヶ月後に開始予定）
- 3 . 大和証券グループとアフィンは、マレーシア国外機関投資家からのマレーシア株注文とマレーシア国内機関投資家からのアジア株（日本株を含む）注文の執行に関し協力する。

アフィンの概要

名称	アフィン・インベストメントバンク (Affin Investment Bank Berhad)
所在地	27th Floor, Menara Boustead, 69 Jalan Raja Chulan, 50200 Kuala Lumpur, Malaysia
代表者	Maimoonah Hussain – Managing Director
資本金	2 億 22 百万 リンギット(約 70.7 億円) (平成 25 年 12 月 1 日現在)
主な業務	証券業(ブローカレッジ、投資銀行業務)
従業員数	450 名
ホームページ	http://www.affininvestmentbank.com.my
取引所シェア	マレーシア証券取引所 2012 年売買代金シェア 10 位
受賞(アワード)	FT/Starmine 2012 #1 Top Stock Picker FT/Starmine 2012 #1 Top Earnings Estimator Wall Street Journal 2011 Asia's Best Brokers

日本マレーシア経済協議会(会長:佐々木 幹夫氏 三菱商事株式会社相談役):1977年、福田首相(当時)とマレーシアのフセイン・オン首相(当時)の賛同を得て創設されて以来、現在までに31回の会合を重ね、貿易、投資、技術協力等の諸問題を中心に活発な意見交換を続けている。

以 上

(ご参考)

平成 25 年 12 月 13 日

各 位

株式会社大和証券グループ本社

アフィン・インベストメントバンクとの業務提携契約締結に関するコメント

<日比野 隆司(ひびの たかし)株式会社大和証券グループ本社代表執行役社長>

本日、マレーシアの Affin Investment Bank Berhad (以下「アフィン」)との間で、エクイティリサーチ・ブローカレッジ業務において業務提携契約締結に至ったことを大変嬉しく思います。

マレーシアは 2020 年の先進国入りを国家目標に掲げ、近年、年率 4~5%程度の経済成長を続けており、その政治的安定とも相まって、ASEAN 諸国の中でも投資家の高い関心を集めつつあります。また、中東とアジアを繋ぐイスラム金融センターとして、中長期的にその経済的重要性がこれまで以上に高まることが予想されています。

現在、マレーシアに拠点を有しない当社グループは、投資家ニーズや収益機会の拡大を捉えるべく、現地証券会社との提携の可能性を探ってまいりました。この度のアフィンとの業務提携により、マレーシア株のリサーチ機能及びコーポレートアクセス機能を大きなコストと時間をかけることなく、大幅に強化することが可能となります。また、従来アクセスの弱かったマレーシア国内投資家に対し、アフィン経由で当社のリサーチサービスを提供する事により、アジア株(日本株を含む)の収益拡大を図ることも可能となります。

今年に入って、タイのタナチャート証券(2月)、インドネシアのバハナ証券(9月)とも業務提携契約を締結しており、この度のアフィンとの業務提携により、当社グループ独自の拠点網と併せ、主要な ASEAN 諸国については、ほぼ網羅できたと考えています。今後は、これら一連の業務提携の効果を極大化すべく、グループ一丸となって努めていく所存です。

以 上